

杉並水道ニュース

東京都水道局杉並営業所発行
東京都杉並区和泉三丁目8番10号 03-5300-8261

水道局公式
ホームページ



12月1日は『東京水道の日』

明治31年（1898年）淀橋浄水場が完成し、浄水場で水をきれいにして鉄の水道管で給水する東京の近代水道が始まりました。東京都水道局では、淀橋浄水場から神田・日本橋地区に給水を開始した12月1日を「東京水道の日」と制定。東京の近代水道は、今年125周年を迎えます。※裏面で125年の歩みを詳しく御紹介します。



「東京都水道歴史館」では、展示物等で
さらに詳しく水道の歴史が学べます。
入場無料 所在地：文京区本郷2-7-1
※詳細は右のQRコードよりHPを御覧下さい。



水道歴史館HP



西部建設事務所から... 水道工事のご紹介 ~水道工事をご理解いただるために~

○一般的な工法である開削工法について紹介します。

①土留杭の圧入



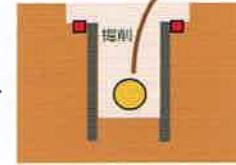
掘削時、土が崩落しないように壁をつくる。道路を通行可能にする。

②覆工板設置



覆工版(鉄の蓋)を設置する。道路を通行可能にする。

③既設管撤去



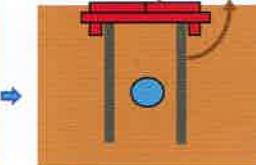
開削後、既設管(古い管)を撤去する。

④新設管の布設



新しい水道管(耐震管)を布設し埋戻しをする。

⑤土留杭と覆工板撤去



覆工版と土留杭を撤去する。

⑥舗装復旧



道路を新たに舗装する。



路面を
掘削して
いる
様子です。



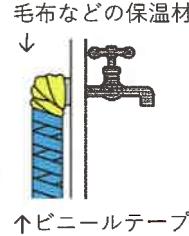
水道管を耐震管に
取り換えて
いる
様子です。

真冬に
向けて

水道管の防寒対策と凍結時の対処方法を確認しましょう

防寒対策

①水道管が直接外気に触れ
ないよう保温材※を巻く。
(※毛布・発泡スチロール等可)



②その上からヒモで縛り固定

③保温材が濡れないように、
ビニールテープ等で下から
隙間なく重ねて巻く。

※屋外の給湯器は凍結被害を受けやすくな
ります。メーカーホームページや取扱説明書
で予防措置の確認をお願いします。

対処方法

⚠ 管が凍ったら 自然に溶けるのを待つか、凍った部分
にタオルを被せ、ぬるま湯をゆっくりかけて溶かし
てください。※熱湯は絶対にかけないで下さい。

⚠ 管が破損したら 至急水道メータ横の止水バル (元栓)
を閉めてください。

⚠ 修繕依頼 お客様ご自身又は家主・管理会社を通じ
て水道工事店に修繕を依頼してください。

修繕の依頼先が不明な方は下記へお問合せ願います。

東京都管工事工業協同組合総合設備メンテナンスセンター

0120-850-195 (フリーダイヤル)

東京近代水道125年のあゆみ

近代以前の歴史とともに、1898年（明治31年）に始まる近代水道125年の歩みをご紹介します。



近代以前の水道

江戸入国後、徳川家康に調査を命じられた大久保藤五郎が小石川上水を、三代将軍徳川家光の時代には、多摩川から江戸に水を引くため、庄右衛門・清右衛門が玉川上水を整備しました。これらが今日の東京水道の遠い起原です。



玉川上水



江戸時代の木樋



玉川兄弟の像

【主な出来事】

- 1590年 小石川上水（後の神田上水）整備
- 1654年 玉川上水整備

近代水道の創設

悪化する水質の改善のため、鉄管で給水する近代水道の整備が進められ、1898年12月には淀橋浄水場からの給水が始まりました。水道需要の急増を受け、近代水道創設直後から拡張工事に着手する一方、荒廃する水源林の管理や関東大震災からの復興など、様々な課題に取り組んできました。



淀橋浄水場



荒廃した水道水源林



震災時の応急給水

【主な出来事】

- 1898年 淀橋浄水場運転開始
- 1901年 水道水源林の管理開始
- 1913年 第一水道拡張事業開始
- 1924年 水道速成復興工事開始

東京水道の拡張

戦争による中断期間を挟み、戦前の計画に基づく施設整備が着々と進められました。戦後には悲願であった利根川水源の利用も実現し、今日の東京水道の基幹となる多くの施設が建設されたほか、多摩地区水道事業の都営一元化も始まるなど、東京水道は更なる拡張の時代を迎きました。



村山・山口貯水池



小河内ダム



淀橋浄水場

【主な出来事】

- 1936年 第二水道拡張事業開始
- 1957年 小河内ダムしゅん工
- 1963年 利根川系水道拡張事業開始
- 1971年 多摩地区水道事業都営一元化開始

量から質への転換

需要の増加が落ち着く一方、原水水質悪化が問題視され、高度浄水処理の導入等による「質」の向上が大きなテーマとなりました。また阪神淡路大震災を受けた震災対策の強化など、「安全でおいしい水」の実現に向け、様々な取り組みを行ってきました。



水道水源林



村山下貯水池堤体強



高度浄水施設完成式典

【主な出来事】

- 1989年 高度浄水施設建設開始
- 1998年 東京近代水道100周年
- 2012年 多摩地区水道事務委託完全解消
- 2014年 利根川水系全浄水場における高度浄水施設建設完了

持続可能な東京水道へ

1898年の近代水道通水開始以来、東京の水道は最も重要な基幹ライフラインとして、都民生活と首都東京の都市活動を支えてきました。今後も計画的な施設整備や新技術を活用したサービスの向上等を通じて、「持続可能な東京水道」の実現に向けて取り組んでいきます。



耐震維手管への取替



施設の耐震化



IWA世界会議

【主な出来事】

- 2018年 IWA世界会議・展示会の東京開催
- 2023年 東京近代水道125周年